

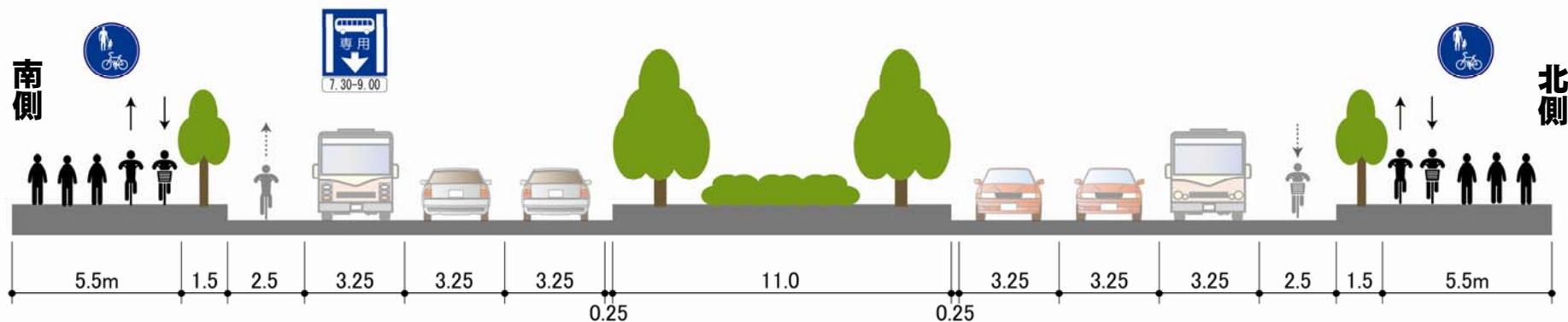
— 金沢駅西50m道路の現状と課題 —



1. 幅員構成(広岡～西念間)

- ◆歩道幅員は5.5m以上と広く、「普通自転車通行可」。
(※原則車道左側を通行。もしくは、歩道の車道寄りを歩行者優先で徐行。)
- ◆1車線幅員3.25mの片側3車線道路。
- ◆路肩(停車帯)2.5mとゆとりのある幅員。

【現況の幅員構成】



2. 周辺の自転車需要の現状

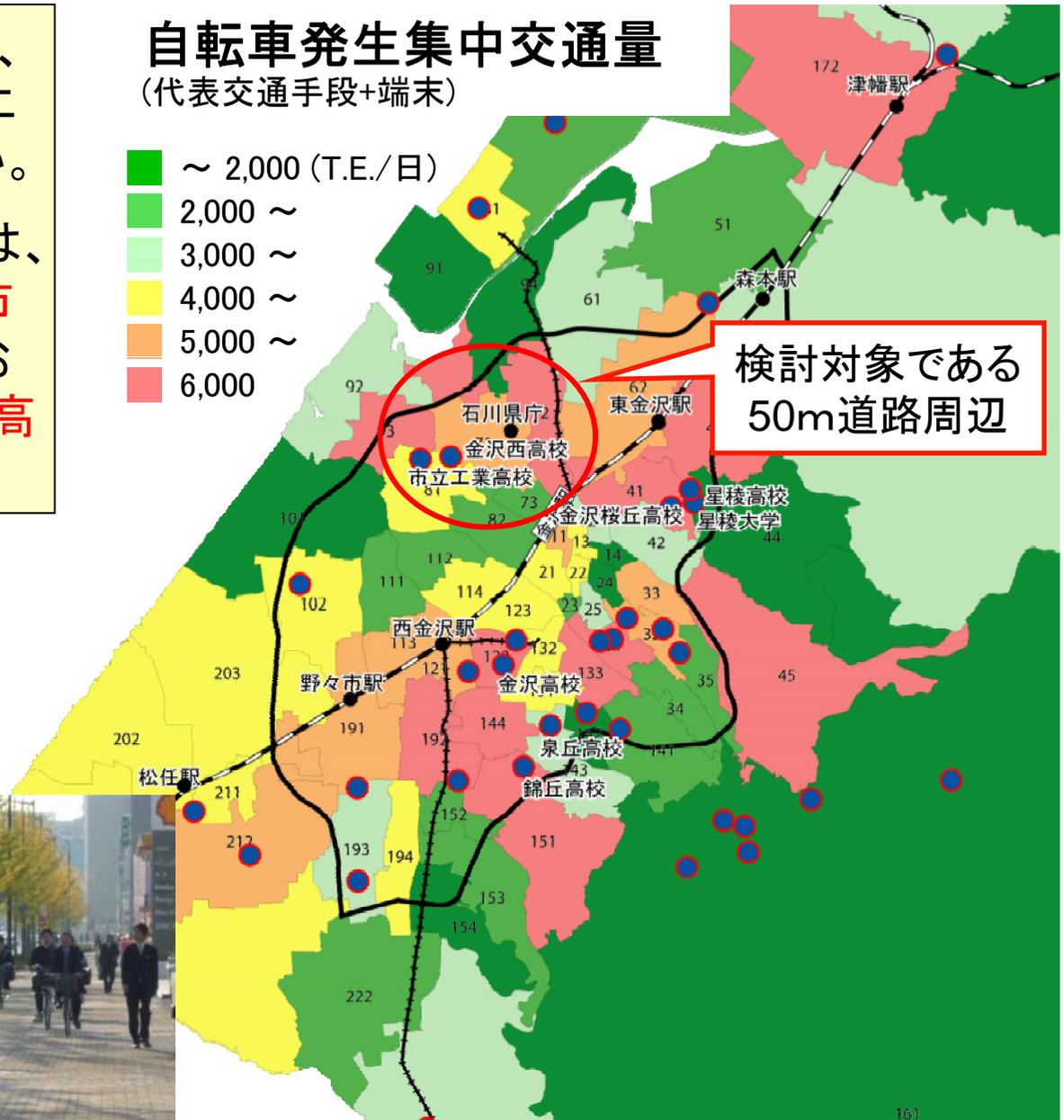
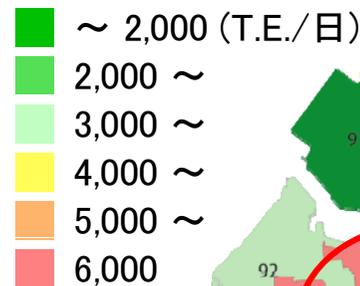
- ◆市中心部及び高校や大学、主要公共施設が集中するエリアでの自転車需要が高い。
- ◆検討対象となる駅西地域は、石川県庁や金沢西高校、市立工業高校等が集積しており、市内でも自転車需要が高いエリアとなっている。



金沢田鶴浜線(50m道路)の様子(平成21年11月撮影)



自転車発生集中交通量 (代表交通手段+端末)



出典: 第4回金沢都市圏PT調査(平成19年)より

3. 歩行者と自転車の通行状況

- ◆朝ピーク時(7時~9時)には自転車が**集団で並進し通行**。
(特に、金沢駅から自転車で通学する高校生の並進等が目立つ)
- ◆信号待ちの際には、**自転車と歩行者が混在して無秩序に滞留**。



歩道いっぱい通行する自転車
(西念4丁目、南側歩道)



交差点滞留部の状況
(西念南交差点、南側歩道)

1) 自転車の無秩序な通行への対応

- 自転車・歩行者の通行位置の明確化
- 路面標示や看板の設置による自転車ルールの明示
- 街頭指導などの実施による自転車ルールの周知

2) 自転車の交通事故への対応

- 交通事故防止に向けた路面標示・看板等の設置
(自転車利用者やクルマのドライバーへの注意喚起)

3) 50m道路周辺での通行環境の改善

- 信号なし交差点の横断への対応
- 50m道路の並行路線での無秩序な通行への対応